

2020年5月26日

学生、保護者の皆様へ

酪農学園大学
危機対策本部長
学長 竹花 一成

<前期開講科目の対面方式による試験の中止について>

日頃より本学の教育に関して、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、本学では、前期授業科目の試験については(実習を含む)、学生の学業成果の質を高め、その成果を確認するために、従来通り対面での試験実施の実現を目指し、時間をかけてあらゆる方法を模索・検討してまいりました。しかし、既存の全施設を以てしても、全ての授業の履修者数に対して、3密(密閉、密集、密接)を避けて、新型コロナウィルスの感染拡大防止に対する安全性を確保した試験の実施は、実質的には困難であることが明らかになりました。加えて、さまざまな事情から、江別周辺に移動できずにいる学生のみなさんが、修学の機会を失うことがあってはならないと考えております。

については、北海道における感染者数については減少傾向にあるものの、今後も大学内における感染拡大防止への取組を継続する必要があると判断し、学生のみなさんをはじめ、教職員の命を守ることが最重要であるという視点から、前期の開講科目における試験について、対面での実施は出来ないと判断いたしました。

前期授業科目の対面方式による試験実施の中止に伴い、成績評価の方法は、遠隔での実施により行うこととし、各授業科目の到達目標に応じ、様々な工夫を凝らした成績評価手法を検討しております。

かつてない社会情勢の中、本学教職員一同、学生に対する教育の質と、その生命の安全確保のバランスを考慮しつつ、生起する問題に一つ一つ真摯に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力の程、お願い申し上げます。